

付録 3

修学モデルの紹介

修学モデルの紹介

以下は、平成平成 19 年 11 月に実施した座談会「夢の実現を支援する KIT ポートフォリオシステム」に参加した学生のデータとアンケートである。

【自分を生かせる就職を目指す学生：工学部 情報工学科 Aさん】

1. 修学ポートフォリオ（座談会の会話を中心に）

(1)修学ポートフォリオを利用してみて、良かった点を教えてください。

回答：私がポートフォリオを利用してよかったです。自らの行動を振り返る機会を得たことである。私は日記を付けていたため、生活を定期的に反省することはなかった。しかし、修学ポートフォリオを利用することにより、1日1日をどのように過ごしたか考える時間を得ることができた。それにより、その週の良い点と悪い点を明確にでき、今後の生活に活かせた。

(2)修学ポートフォリオの改善点があれば教えてください。

回答：修学ポートフォリオは、入力したくなるような工夫をする必要がある。具体的には項目を増やすなどである。現段階では、自由に文章を書けるところは一つだけである。そこに今週の良かった点や反省を書くので、情報量がどうしても限定されてしまう。多くの項目を設けることにより、今週の反省がしやすくなるのではないだろうか。

(3)実際に入力した下記修学ポートフォリオのサンプルにおいて、以下の①②について具体的に教えてください。

2007年1月第4週

1週間の行動履歴				
工学部 情報工学科 Aさん				
※R…レポート、P…プリント				
月/日	曜日	欠席・遅刻科目・理由	予習・復習・課題 ・所要時間(分)	部活動・利用施設・アルバイト などの内容・時間帯
1/21	日		工学基礎実験課題 2時間	
1/22	月		数理工統合Ⅲ復習 2時間	
1/23	火		工学基礎実験課題 1時間	
1/24	水			
1/25	木			LCアルバイト 5時から10時半
1/26	金			
1/27	土			

【この1週間で特に努力した点、反省すべき点とその対策、日常生活において困った点など】
今週は数理工統合Ⅲ線形代数のテストがあった。事前に勉強を進めていたため、期待通りにできたと思う。来週はテストも少ないので、基本情報技術者の勉強を積極的に進めたい。天気が良い日が多いので、体を動かしていきたい。(文字数: 104字)

【教員からのコメント】

[戻る](#) [印刷する](#)

①どのような考えをもって取り組んだのですか（工夫した点など）。

回答：私が修学ポートフォリオを利用するに当たり工夫した点は、3つの項目について書き込むことである。1つ目は、今週の学業における反省である。学習への取り組み方や、レポートやテストの出来などについて書き込んだ。2つ目は、学業における展望である。来週どのように学習を進めていくかを書き込んだ。3つ目は、生活についてである。最近の近況などを書き込むことにより、よりよく生活できることを目指した

②あなたの生活・勉強スタイルに、どのように役立てたのですか

回答：修学ポートフォリオには、反省や展望を書き込むことができる所以、内容を今後に生かすようにした。記述した反省や展望をもとに来週の学習計画を立てた。生活面では、状況を把握することに役立てた

2.達成度ポートフォリオ（1年次の冬学期）

（1）達成度ポートフォリオを利用してみて、良かった点を教えてください。

回答：達成度ポートフォリオを利用してよかったです。1年の総括を行い、来年度からの修学に役立てることができたことです。私は資格取得を目指していたが、1年次には受験をしなかった。その反省をもとに、2年次では、基本情報技術者資格の取得を目指し取得することができた。これは、達成度ポートフォリオからの反省により、目標を設定できたということだろう。

（2）達成度ポートフォリオの改善点があれば教えてください。

回答：達成度ポートフォリオは、タイムオーバーの時間を長くしたほうが良い。書き込みが数十分を超えると、書き込んだ内容が消えてしまう。そのため、別のものに書き込んでから、それをコピーするという方法をとらなくてはならない。便利にするために、タイムオーバーまでに十分な時間を設けたほうが良い。

（3）実際に入力した以下の達成度ポートフォリオのサンプルにおいて、①②について具体的に教えてください。

①どのような考え方をもって取り組んだのか（工夫した点など）。

回答：私は達成度ポートフォリオを、1年を振り返ることができるように書き込んだ。ただ課題をこなすために書くのではなく、1年間どのような考え方を持って過ごし、実行したかを書いた。それにより、1年間を反省することができると考えたからである。

②あなたの勉強スタイルに、どのように役立てたのか

回答：私は学業を一度に片付ける癖がある。早い時期ならばよいのだが、直前になるまでやらないことがある。それを改善するために、達成度ポートフォリオに反省を書き込んだ。現在では、以前に比べて課題を直前にこなすことは少なくなった。

3期の達成度自己評価

参照

工学部 情報工学科 Aさん

1)【「修学基礎ⅠⅡⅢ」の「学生の行動目標」の達成度について】 (達成できなかった原因と改善方法)

私は修学基礎の「学生の行動目標」の中にあるチーム活動に協力的に参加するが達成できなかった。私は5班の班長であるが、チームを十分にまとめることができなかつた。秋学期の口頭発表では、課題が忙しく班員全員で集まることができなかつた。そのため、私1人で発表内容を決めてしまつた。今後これが続けば、仲間と協力して行うことの足並みを乱してしまうことになる。したがつて、早急に改善していくことが必要である。具体的な改善方法としては、まず相手のことを考えることが必要である。秋学期の口頭発表では、班員のことを考えずすべて私の独断で決めてしまつた。おそらく、他の人の意見も聞いていれば、中身のある発表ができただろう。冬学期の口頭発表では、今回の反省を生かして班員と協力してチーム活動を行いたい。相手のことを考えることは、チーム活動以外でも必要である。したがつて、私はこれから相手の気持ちを考え、行動を決定したい。(文字数:398字)

(408文字)

2)【1年間の学習・生活全般についての反省と改善方法】 (成績・課題提出・出席など)

私の学部1年次での学習・生活全般についての反省は、生活が不規則だったことである。私は食生活が乱れていたり、生活リズムに問題があつたりしていた。特に睡眠時間が少なく、連日徹夜することも少なくなつた。徹夜をしていた理由は、課題に取り掛かることが遅く直前にこなすことが多かつたからである。徹夜をすると、勉強に集中することができない。さらに、徹夜が続いたらしく健康を保つことができず、学業を続けていけなくなる。したがつて、私はやるべきことをまず行う習慣を身に付けたい。課題などの、やるべきことを後回しにしていては、いつまでもこの繰り返しになつてしまう。私はやるべきことを最初に行い、常に時間に余裕を持ちたい。生活に余裕があれば、睡眠時間が確保できるだけでなく、自炊する時間も持つことができる。したがつて、やるべき事を最初に行う習慣を身に付けて健康で充実した学生生活を送りたい。(文字数:388字)

(398文字)

3)自己診断シート(入学時に作成)の「卒業後の希望進路に到達するためには、どのような主体的行動を取るべきと考えますか」について

①この1年間どのような主体的行動を取りましたか、 次年度以降の計画をどのように考えていますか。

私はこの1年間、資格を取得するという主体的行動をとつた。理由は、資格取得により実力を証明できるだけでなく、勉強に対するモチベーションを維持することができると考えたからである。しかし、春学期と秋学期では大学の課題に手一杯になつてしまい、資格試験の勉強ができなかつた。11月中ごろに、このままでは学校の勉強しかできない人間になつてしまうと感じ、情報処理技術者試験の1つである基本情報技術者に挑戦することを決めた。11月の段階では、あまり勉強がはかどらなかつた。12月に入り、危機感を感じようやく勉強を始めた。1月17日に試験の申し込みをした。私は試験まで残り少ない時間を有効に使って合格したい。今後の方針は、夏にTOEICを受験したいと考えている。私は、英語が苦手なので、この機会に集中して勉強したい。その後も、資格や検定などに挑戦していきたい。そして、進路希望である大学院進学を達成したい。(文字数:395字)

(405文字)

②主体的行動ができなかつた原因・理由は何ですか、 その改善方法をどのように考えていますか。

(0文字)

戻る

印刷する

3. 進路:就職に関する質問

(1)その進路を選択した時期は、いつですか

回答: 私の考える進路は、大学院進学後に自動車関連企業に就職し車載システムを開発することである。進路を選択した時期は、大学1年次である。

(2)その進路を選んだきっかけは、どのようなことですか。

回答：私は大学入学以前から、自動車関連企業に興味があった。しかし、入学時は具体的な進路を決めていなかった。その後、自らの適正を考えたり、キャリアポートフォリオへ過去を書き込んだりしたことで、何をしたいのかが明確になったからである。

(3)自己実現のために、今までとった行動は、どのようなことですか

回答：私は自己実現のために、学業に励むことと、企業のインターンシップに参加することを行った。学業に励んだのは、実力をつけなければ、目標を達成できないと考えたからである。大学の講義をがんばるだけでなく、資格取得にも取り組んだ。インターンシップに参加した理由は、仕事に対して持っているイメージと実際のずれを早いうちに理解したかったからである。

(4)自己実現のために、現在心掛けている行動は、どのようなことですか

回答：自己実現のために心がけていることは、目標を見失わないようにすることである。この時期に見失うと、すぐに目標を忘れ、楽な方向に逃げてしまうからである。それを防ぐために、常に向上心を持ち続けている。例えば、興味のあることは何でも学び自分のものにする努力をしている。

(5)将来に向けての構想は、どのようなことですか

回答：私は進路を実現するために、大学院への進学を考えている。現在は大学院修士課程を修了しなければ、先行開発や研究に従事することはできない。私は新しいシステムの開発に携わりたい。そのためには、大学院へ進学し実力をつける必要がある。

(6)自己実現や将来の夢のために、日々何を考えて学習・生活をしていますか

回答：私は将来のことを考え、大学生活を充実させることを考えている。私が考える充実とは、よく学びよく遊ぶことである。目標を達成したとしても、大学生活に対する後悔を持っていては、迷いが生じるかもしれない。大学生活を充実させることにより、今だけでなく後の後悔をなくせると考えている。

(7)自分の選んだ進路に対するとまどいはありませんでしたか

回答：私は目標を定めるまでは、どのような職をやりたいかを迷っていた。しかし、目標が決まってからは、その目標に向かい努力をしてきた。それは、本気で悩んだ末に出した結論だからであろう。

(8)迷いが生じた時の対処方法はどのようなものですか

回答：私は進路に対する迷いが生じた時は、もう一度将来について深く考へるようにしている。休養日を設け、遊んだり、考え方を確認したりすることで迷いを消している。それでも迷いが消えない場合は、学業に励むことで自らの意思を確かめている。

【大学院進学を目指す学生：環境・建築学部 建築学科 Bさん】

1. 修学ポートフォリオ（座談会の会話を中心に）

(1)修学ポートフォリオを利用してみて、良かった点を教えてください。

回答：高校までは自分の細かいスケジュール管理を行なわなくとも課題をこなすことが出来たが、大学に入り、課題も増えたためスケジュール管理を行なわなければ課題をこなすことが困難になった。そのため、今までつけたことのなかったスケジュール管理の練習になった。また提出した行動履歴に対して修学アドバイザーの先生がコメントを書いてくれるため、心配ごとや悩み事があると気軽に相談にいける関係を作ることが出来たと思う。

(2)修学ポートフォリオの改善点があれば教えてください。

回答：ネットを使ってポートフォリオをつくるため、時間がかかるとタイムアウトになってしまうため、打ち直さなければいけないのが大変だった

(3)実際に入力した修学ポートフォリオのサンプルにおいて、どのような考えをもって取り組んだのですか（工夫した点など）、あなたの生活・勉強スタイルに、どのように役立てたのですか。具体的に教えてください。

1週間の行動履歴					
環境・建築学部 建築学科 Bさん					
※R…レポート、P…プリント					
月/日	曜日	欠席・遅刻科目・理由	予習・復習・課題 ・所要時間(分)	部活動・利用施設・アルバイト などの内容・時間帯	
5/15	日		技術者入門・R・150分 数理統合 I・R・180分 工学基礎ドローイング・120分	LC10:00～12:30 自習室14:00～19:00	
5/16	月		外国語小テスト勉強 工学基礎実験・課題・60分	食堂10:00～10:30 自習室10:30～11:00／15:30～17:00 夢考房17:00～20:00	
5/17	火		数理工統合 I・R・180分	食堂13:00～14:00 自習室14:00～15:30 買出し15:30～16:10 夢考房18:00～19:00	
5/18	水		数理工統合 I・課題・180分 修学基礎・R・30分 コンピュータ基礎演習・90分	食堂10:00～11:00／12:10～14:00 自習室14:10～18:00 本屋18:10～18:40	
5/19	木		工学基礎実験・課題・120分 数理工統合 I・テスト勉強・60分	食堂10:00～12:30 夢考房17:00～20:30	
5/20	金		修学基礎 I・課題・300分	修学相談室前(プレゼンテーション準備)17:00～19:00 自習室(プレゼンテーション準備)19:00～22:30	
5/21	土		数理工統合 I・R・30分 建築学大意・R・40分 外国語学習法・R・180分 工学基礎実験・課題・40分	野々市町役場(建築学大意の課題)9:00～12:30 食事13:00～14:00 妹島さんの講演会14:30～17:30 自習室17:30～24:10	

【この1週間で特に努力した点、反省すべき点とその対策、日常生活において困った点など】

今週は自習室を出来るだけ活用して、課題を終わらせるように努力した。先週は時間を有効利用できなかつたが今週はそれが出来たのでよかったです。講演会にも参加できたのは自分自信を深めるためにもよかったです。また、遅刻・欠席もないのでこの調子で来週もがんばっていきたい。(132文字)

戻る

印刷する

やらなくてはいけない課題を事前にメモって課題をした。

スケジュール帳に細かい時間を書き込んで入力した。

2. 達成度ポートフォリオ（1年次の冬学期）

(1)達成度ポートフォリオを利用してみて、良かった点を教えてください。

回答：自分の行動を振り返り、次の学年での目標を明確にする手助けになったように思う。

また、高校まではあまり文章を書くことがなかったが、文章を多く書く練習にもなっ

たと思う。

(2)達成度ポートフォリオの改善点があれば教えてください

回答：一年の最初にはそれが勉強になったが、後半には自分で振り返ることに慣れてきたので、打ち込んで文章にすることは面倒だった。

(3)実際に入力した達成度ポートフォリオのサンプルにおいてどのような考えをもって取り組んだのですか(工夫した点)、またあなたの勉強スタイルにどのように役立てたのですか、具体的に教えてください。

1年次の回顧と2年次への展望	参照
環境・建築学部 建築学科 Bさん	
1)【「修学基礎ⅠⅡⅢ」の「学生の行動目標」の達成度について】 (達成できなかった原因と改善方法)	
まず、行動履歴については毎日つけることが出来ず、一週間単位でスケジュール帳を見ながらつけてしまうことが多かった。しかし、スケジュール帳をしっかりとつける癖がついたことに関しては良かったと思う。2年生になってもしっかりとスケジュール管理を行い、課題の提出やテスト対策を行なっていこうと思う。次に講話の内容についてはしっかりとまとめることができ、自分の見解を文章で作成できたと思う。グループ討議については自分の意見を言ってはいるものの貢献したとまでは言えなかったように思うので、今後自分の意見をしっかりと持ち、積極的に討議に参加していこうと思う。提出物に関しては行動履歴を提出日に印刷してしまい、プリンターの故障などで締め切りが遅れてしまったことがあったので、余裕を持って印刷し、提出期限に間に合うようにしていかなければならぬ反省した。(364文字)	
2)【1年間の学習・生活全般についての反省と改善方法】 (成績・課題提出・出席など)	
学習については非常に頑張ったと思う。最初はスケジュール管理がしっかりと出来ていなかったので提出期限ギリギリに課題を終わらせてしまうことがあったり、テストの日を忘れて直前に勉強を始めたりと、失敗が多くあったが、秋学期に入る頃には改善でき、課題を出来るだけ余裕を持って終わらせるようにし、平日は疲れて勉強に集中できないので土日に課題を行なうような工夫をした。しかし、自分でハーフドルを上げすぎた点があるので、途中から非常にしんどくなってしまった。次年度からはもちろん一生懸命勉強することは大切だが息抜きを入れながら自分の精神状態を安定させるような努力をしていく必要があると思う。生活面では、食生活が乱れ、朝ご飯や夕ご飯を抜いてしまったり、いい加減なものばかり食べ、栄養的に偏ったものばかりを食べるようになっていた。また、部屋が汚れたままで、なかなか片付けられなかつたりと勉強に必死で生活に余裕がなかった。次年度からは学習面とともに生活面もしっかりと安定できるように努力していくこうと思う。(439文字)	
3)自己診断シート(入学時に作成)の「卒業後の希望進路に到達するためには、どのような主体的行動を取るべきと考えますか」について以下の内ひとつを選んで記して下さい。	
<input checked="" type="checkbox"/> この1年間どのような主体的行動を取りましたか、次年度以降の計画をどのように考えていますか。 <input checked="" type="checkbox"/> 主体的行動ができなかった原因・理由は何ですか、その改善方法をどのように考えていますか。	
まず建築についてより多くの知識を得るために、夢考房プロジェクトに入った。何もかもがはじめての経験で、模型の作り方、コンペの進め方、設計の行い方など、普段の授業では経験できないことをたくさん経験できた。また、秋にはプロジェクト発表会があり、保護者や他の学校の先生や生徒、企業の方に自分たちのプロジェクトに対しての客観的な意見をいただき、1年生が設計した美術館についても様々なコメント得ることが出来たので非常に勉強になった。また、興味のあつたデザインの勉強の一環として、定期的に行なわれるデザインセミナーにも出来るだけ参加した。他にも以前からとりたかったカラーコーディネーターの資格試験を受験することが出来た。これらのことを行なうことで勉強になったことがたくさんあり、今後もこの活動を続けていきたい。また、次年度には様々な分野の本を出来るだけ読みたいと考えている。本を読むということはたくさんの知識を身につけると同時に、日本語の勉強にもなると思う。文章能力を伸ばしていく上でも本を読むということは重要になってくると思うので、今後行ないたいと考えている。(473文字)	
戻る	印刷する
1年間のできなかった事や、良かった事を振り返って来年度に向けて意識を高めようとした。	

3. 進路:進学に関する質問

(1)その進路を選択した時期はいつですか。

回答：3年の夏に大学院に進学することを決定した。

(2)その進路を選んだきっかけはどのようなことですか。

回答：2年の夏ごろから自分のやりたいことに対してどういう風な進路を選べばいいのかを

先生にも相談に行った。2年の春休みには金沢にある建築事務所のオープンデスクに行き、建築家の先輩たちに色々なお話を聞いていただいた。そして、3年の夏休みには横浜にある建築事務所のオープンデスクに行った。そこでもう少しデザインについて勉強したいと考え、大学院に進学することに決めた。

(3)自己実現のために、今までとった行動はどのようなことですか。

回答：1年生のときから建築の勉強をしようと夢考房プロジェクトに参加し、模型作りやデザインの勉強を行なっていた。2年生では副リーダーを経験し、グループをまとめる難しさや運営する大変さを学んだと思う。

(4)自己実現のために、現在心掛けている行動はどのようなことですか。

回答：現在も夢考房プロジェクトは継続し、できるだけ多くの建物を見に行くように気をつけている。雑誌や本などを出来るだけ読むように心がけている。

(5)将来に向けての構想はどのようなことですか。

回答：大学院に進学し、デザインを勉強して建築設計事務所に就職したいと考えている。インテリアや、商業建築に興味があるため、そこを中心に勉強できたらいいと思う。いずれは自分自身が設計事務所を持てるようになったらいいと考えている。

(6)自己実現や将来の夢のために、日々何を考えて学習・生活をしていますか。

回答：私が目指している建築設計の道は幅広い知識が必要になってくる職業であると思う。建築についての知識だけでなく、幅広い知識を持つことでより豊かで、社会に必要とされる建築をつくることができるのではないかと考える。そのための勉強を大学の授業や、講演会を通して考えたり、雑誌や本を読むことで得ようと努力している。

(7)自分の選んだ進路に対するとまどいはありませんでしたか。

回答：全くなかった。自分がやりたいと思って進んできた道だったので、迷いはなかった。自分の能力を信じて努力するだけだと思っている。

(8)迷いが生じた時の対処方法はどのようなものですか。

回答：自分の理想を常に持つことで、迷ったりめげそうになるとそれを思い出して理想に近づけるように努力する。また、人に話すことで自分がどうしたいのかを自分自身で明確にするようにしている。

【課外活動(例えば夢考房活動)を目標とする学生:工学部 ロボティクス学科 Cさん】

1. 修学ポートフォリオ(座談会の会話を中心に)

(1)修学ポートフォリオを利用してみて、良かった点を教えてください。

回答：1週間の行動履歴を1週間に1回書くことで1週間を振り返り、反省することで、次週の行動を改めることができた。自分が勉強をどれくらい行ったかを見つめなおすことができるので勉強にどれだけの時間を使うかがわかる。課外活動に当てる時間も勉強に使う時間を逆算して予定を立てられる。

(2)修学ポートフォリオの改善点があれば教えてください。

回答：入力する画面へ行くのに何段階か踏まなければいけないので学生ポータルのTOPページに自分専用のリンクが貼れるようにすればポータルのTOPページはよく講義の確認で入るので思い立ったら書くことができるし、忘れない。

(3)実際に入力した修学ポートフォリオのサンプルにおいて、どのような考えをもって取り組んだのですか(工夫した点など)、またあなたの生活・勉強スタイルに、どのように役立ったのですか、具体的に教えてください。

1週間の行動履歴					
工学部 ロボティクス学科 Cさん					※R…レポート、P…プリント
月/日	曜日	欠席・遅刻科目・理由	予習・復習・課題 ・所要時間(分)	部活動・利用施設・アルバイト などの内容・時間帯	
8/27	日	特になし	特になし	特になし	
8/28	月	特になし	修学基礎Ⅱ・R・90分	夢考房41:18:00~20:30platz:22:00~0 0:00	
8/29	火	特になし	技術者入門Ⅱ・R・30分数理工統合Ⅱ・勉強・40分	夢考房41:17:00~20:30platz:22:00~0 0:00	
8/30	水	特になし	英語Ⅱ・宿題・30分数理工統合Ⅱ・予習・60分	夢考房41:17:00~20:30platz:22:00~0 0:00	
8/31	木	特になし	数理工統合Ⅱ・予習・180分	夢考房41:17:00~19:30platz:21:00~0 0:00	
9/1	金	特になし	英語Ⅱ・R・120分	夢考房41:17:00~20:30platz:22:00~0 0:00	
9/2	土	特になし	特になし	夢考房41:10:00~17:00	

【この1週間で特に努力した点、反省すべき点とその対策、日常生活において困った点など】
今週は数理工統合Ⅱの小テストがあり、勉強したのだが少し自信がない結果になりそうなので心配たまりません。プロジェクトでは、1年生はプロジェクト発表会で簡単なプログラムを組み2on2の試合をします。この作業に力を入れたいので、計画をきちんと立て生活して行きたいと思う。(131文字)

【教員からのコメント】

月～土曜日に次週提出の課題を終わらせ、日曜日はゆっくりすごそうと計画を毎週立てていた。だが、テスト週は、日曜日も勉強していた。

夢考房でプロジェクト活動をした後、platzに行き、勉強をしていた。これにより、自学自習の習慣がついた。

[戻る](#) [印刷する](#)

2. 達成度ポートフォリオ(1年次の冬学期)

(1)達成度ポートフォリオを利用してみて、良かった点を教えてください。

回答：1年間を振り返ることができ、次の年の目標を決めるのに役立った。

(2)達成度ポートフォリオの改善点があれば教えてください。

回答：説明を修学基礎の時間に行って欲しい。または、詳しい説明(活用方法や利点など)のプリントが欲しい。

(3)実際に入力した達成度ポートフォリオのサンプルにおいて、どのような考え方をもって取り組んだのですか(工夫した点など)、またあなたの勉強スタイルにどのように役立てたのですか、具体的に教えてください。

3期の達成度自己評価

参照

工学部 ロボティクス学科 Cさん

1)【「修学基礎ⅠⅡⅢ」の「学生の行動目標」の達成度について】 (達成できなかった原因と改善方法)

「修学基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の課題であった行動履歴は毎週欠かさず作成し提出できた。また、毎学期最初に行われる進路部長や学生部長の講話を聞きその講話の重要なことをまとめたレポートを作成することができ、基本的なレポート作成能力が身についた。それからチームでのプレゼンテーションをするためのグループ討議はグループのリーダーに負担をかけないように積極的に話し合いに参加しグループ活動に協力的な姿勢で臨むことができた。が、クラス内でのプレゼンテーションで発表する際、緊張のあまり言葉に詰まってしまい良い結果が出せなくチームに迷惑をかけてしまったので人前で話すことになれるように練習していきたい。また、提出物の遅れはなかったが、一度だけ遅刻をしてしまった。一度遅刻をしてしまうと気持ちが弱くなってしまい休みがちになるので来年度からそのようなことがないようにしていきたい。(文字数:377字)

良かった点を振り返り書き出した。

悪い点も振り返り書き出し反省し、来年度の目標にするようにした。

(388文字)

2)【1年間の学習・生活全般についての反省と改善方法】 (成績・課題提出・出席など)

一年間を振り返り私は工業高校出身で数学や物理の勉強が遅れているので春・秋・冬学期は「数理工統合」で苦戦したので2年になんでも遅れを取り戻せるように「数理工統合」の復習や知らないものは「工学基礎教育センター」や「LC」で調べて学習していきたい。

プロジェクト活動でテスト前に休んでしまう傾向がでてきたのでテストの日にちがわかっている科目は最低1週間前から勉強をはじめプロジェクト活動は毎日できるようにしたい。

生活面では肉が入った食事が多く野菜を取らず食事のバランスが偏り、風邪をひきやすくなっているので野菜を取り入れた食事を1日1回は取り入れていきたい。

また、睡眠時間がプロジェクト活動や課題で5時間程度しか取れていないので2年からは1年と比べ忙しくないと聞くので授業の合間に課題などを終わらせるなど工夫し睡眠時間を毎日7時間以上取れるようにスケジュール調整をしていくたい。(文字数:385字)

この項目で1年間を振り返ることができ、勉強スタイルの改善になった。

(398文字)

3)自己診断シート(入学時に作成)の「卒業後の希望進路に到達するためには、どのような主体的行動を取るべきと考えますか」について

①この1年間どのような主体的行動を取りましたか、次年度以降の計画をどのように考えていますか。

(0文字)

②主体的行動ができなかった原因・理由は何か、その改善方法をどのように考えていますか。

この1年間私は夢考房プロジェクト活動に専念しつつ成績の判定がA以上取れるように行動してきた。だが、思うようにできなかった。その原因のひとつは本学のカリキュラムをよく見ていた点である。

春学期はRoboCupプロジェクトの大会があり忙しい活動がなく課題やテスト勉強に当てることができた。

秋学期は春学期と比べ時間割に授業が詰めこまれており課題やテスト勉強に時間をかけてしまいプロジェクト活動があまりできなかった。

冬学期は秋学期ほど忙しくなく時間に余裕ができた。だが、秋学期と同じく課題やテスト勉強に力を入れてしまいプロジェクト活動に専念できなかった。

この1年でプロジェクト活動と勉強の両立が忙しいことわかった。来学期からは授業数が減り授業と授業間に空時間が出てくると思う。プロジェクト活動は放課後からなのでこの空時間やプロジェクトに行く前に課題を終わらせゆったりとした学生生活を送りたいと思っている。(397文字)

(408文字)

戻る

印刷する

3. 進路:就職に関する質問

(1)その進路を選択した時期はいつですか。

回答：2年生の秋～冬学期にかけて

(2)その進路を選んだきっかけはどのようなことですか。

回答：院へ行くという進路がとれなかつたから。

(3)自己実現のために、今までとった行動はどのようなことですか。

回答：勉強と課外活動の両立。「成績を下げないこと」もあるが、社会に出ても仕事のほかに何かと両立して生活していかなければならなくなる。そのために学生生活中、どの内容もおろそかにしないように両立することを学んできた。

(4)自己実現のために、現在心掛けている行動はどのようなことですか。

回答：私は現在、Robo Cup プロジェクトでロボットの製作を任せられている。そのロボットを大会に間に合うように計画を立てて製作している。製作していく上で、講義などで時間がさかれるなか、効率を考えながら後輩と協力し製作していくことを心掛けている。これは社会で仕事を任されたときの予行練習だと考え、取り組んでいる。その結果、スケジュール管理やリーダシップが身についてきた。リーダシップについては平成20年度からRobo Cup のプロジェクトリーダに就任するので、そこで50人いるメンバーに指示できるようになろうと考えている。最後に課外活動を続けるなか、「成績を下げない」、「講義を休まない」を心掛けている。

(5)将来に向けての構想はどのようなことですか。

回答：在学中はRobo Cup プロジェクトと講義の両立をがんばり、3年生になったら就職のための情報収集(先輩の情報やネット)を行い、資格試験に積極的に取り組もうと考えている。

(6)自己実現や将来の夢のために、日々何を考えて学習・生活をしていますか。

回答：課外活動に疲れても、講義は休まないようにしよう、単位を落とさないようにしよう、宿題やレポートなどの課題は手を抜かない、テストがあるときは必ず勉強する、平日はがんばって、土・日曜日は休めるように課題などは終わらせよう。

(7)自分の選んだ進路に対するとまどいはありませんでしたか。

回答：勉強していきたいと考えていたので戸惑いはあった。だが、就職しても仕事先では毎日勉強の日々だと思う。そこで勉強は進学して行う勉強内容とはだいぶ違ってくるだろうが、就職先ではその勉強をがんばろうと思う。

(8)迷いが生じた時の対処方法はどのようなものですか。

回答：迷いは最低でも選択肢が2つあると思う。例えば、大学院への進学と就職。院へ行きたいが就職もしてみたいという場合、自分を納得させなければならない。この場合、私は情報を収集する。院へ行っている先輩、就職している先輩に連絡を取り長所・短所を聞く。現場の情報を聞くことができるのでとても参考になるし、迷っている選択肢のどちらかにベクトルが傾く。これをインターネットでの情報収集や進路相談をしてくれるところなどでさらにベクトルが傾く。このベクトルが振り子のように「院・

就職・院・就職・院・・・・」と揺れるかもしれないが、自分を見つめなおしたときどちらかにベクトルが向いていると思う。結論は先輩や先生などに相談を繰り返すことだと思う。なので、先輩などのつながりを持つために部活・サークル・夢考房プロジェクトに所属していくことを勧める。